

4号機 湿水分離加熱器ドレンタンク水位計装配管からの排水の監視強化について
(排水升への流入状況の監視)

平成 19 年 2 月 9 日

発生号機	4号機 (定格熱出力一定運転中) :沸騰水型、定格電気出力113.7万キロワット
発生年月日	平成19年2月9日(監視強化開始)
発生時の状況	<p>平成19年2月8日午後2時頃、タービン建屋1階(管理区域内)の湿水分離加熱器(※1)ドレンタンク(B-2)(※2)の水位を計測する配管の排水配管(通常は排水弁を閉弁)から排水升に水が流入していることをパトロール中の当社社員が発見しました。</p> <p>その後、排水配管に設置されている排水弁の増し締めを行い、状況を監視していましたが、僅かに排水升への流入が継続していることから、本日午後より、監視カメラを設置し排水升への流入状況について監視強化を行うこととしました。</p> <p>排水は液体廃棄物処理系で適切に処理されています。</p> <p>本事象によるプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しています。</p>
放射能の影響	外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表2-1」に該当します。

※1 湿水分離加熱器は、プラント熱効率を高めるため、高圧タービンで排気され低圧タービンへ供給する蒸気について、蒸気中の湿分を除去し加熱するための機器です。

4号機には2台設置されており、各湿水分離加熱器には第1段及び第2段の加熱器を有しています。

※2 湿水分離加熱器ドレンタンクは、湿水分離加熱器からの排水(加熱を終えた蒸気は冷えて水となる)を回収し復水器に戻すためのタンクです。

以 上

浜岡4号機 系統概要図

